



慶真通信 vol.3



昔、こんな場所でした

新宿のクリニックでは、血圧を測った方が窓の外を眺める事が多く、地域のお話も載せようと思いました。今回は新宿・有楽町、両クリニックの所在地の歴史についてです。

新宿クリニックの西新宿6丁目東側辺りは、平安時代末期から柏木角筈(かしわぎつのはず)と呼ばれていました。江戸時代の地図では畑が広がっています。明治時代には南側に淀橋浄水場が作られ、新宿アイランドの一部も浄水場の敷地でした。淀橋浄水場は昭和40年に移転。現在の西新宿6丁目という地名は昭和45年からです。西新宿は副都心となり、超高層ビルが建ち並びました。(「新宿文化絵図」新宿区)

有楽町クリニックの有楽町1丁目辺りは、江戸時代以前は海と湿地が広がり日比谷入江と呼ばれていました。新橋辺りを湾口とし大手町方面まで続く入江でしたが埋め立てられ、そこに大名の上屋敷や役所などが集まりました。明治維新後は軍用地を経て官庁街とオフィス街になっています。(「日比谷図書文化館常設展示図録」千代田区「大江戸今昔マップ」新人物往来社) 皇居周辺にはあちこちに史跡があり散歩にお勧めです。地域の歴史を知って両クリニックに親しんでもらえれば嬉しいです。

Q&A

教えて！遠藤先生



夏休みに海外旅行に行くのですが、CPAPを現地でそのまま使用しても大丈夫ですか？

CPAPには、本体もしくは電源アダプターのいずれかに変圧機能が備わっているので、変圧器は不要です。100Vから240Vまで対応しており、一部の国や地域(南アフリカ・ガーナ・オーストラリアの一部で250Vの地域があります)を除き、そのままご利用頂けます。

ただし、コンセントの差込口は国によって形状が異なるので、必要時は変換プラグをご使用ください。無理に差し込むと破損による不具合や、漏電等の危険が生じるおそれがあります。

また、機内で使用する場合はサポート内容が航空会社によって異なるので、ご利用の航空会社へ必ずお問い合わせ頂くようお願いいたします。

“渡航証明書”が必要な場合は医師にご相談下さい。

CPAPについて学ぼう！



新宿睡眠 院長遠藤Dr.

機内持込 注意点

※預け入れではなく必ず機内持ち込み荷物として携行して下さい。
※機内で加温加湿器は使用しないで下さい。
乱気流や機体の大きな揺れによりマスク・ホース・CPAP本体への浸水の危険があります。

夏期休暇のお知らせ

新宿/有楽町睡眠・呼吸器内科クリニック共に8月11日(金・祝)～8月20日(日)は夏期休暇を頂きます。皆様にはご不便お掛けしますが、何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。

